

宇都宮の高校生のための情報誌

MIYATEEN

Vol.3

「この本面白いよ!
読んでみない?」

by 12人の高校生



CONTENTS

- 読んで欲しくて選びました いちおし本12冊!!p2・3
あなたの読書生活が変わるかも?? ぼくらの読書事情 ...p4・5
本にもいろいろあったんだ ジャンル別おすすめ本p6・7
編集委員を紹介しますp8

読んで欲しくて選びました

いちおし本12冊!!



『困ってるひと』

大野更紗／著 ポプラ社



困
っ
て
る
ひ
と

《あらすじ》

福島のだかな山あいので育ち、某大学のフランス語学科に入学したわたし。しかし入学一年目にして、ビルマ女子となりビルマ難民のために働いていたわたしを襲ったのは激痛、潰瘍、炎症検査の日々。どこにいてもきちんとした病名もわからないまま、友達や親にも頼れない。地獄の毎日をつづるノンフィクションストーリー。

感想

笑えて、泣けて、理不尽で、壮絶で、どんなにくじけても前を向いて自分にやどる難病を受け入れていこうとする凄いパワーに感動します!! (NMO27)

『脳内汚染』(文春文庫)

岡田尊司／著 文藝春秋



《あらすじ》

ゲームは脳に悪い、ゲームによる影響は凄い、それを明確にした本です。海外を含め、ゲーム等によって殺人事件にまで発展した前例は大変多いです。それをより写実的にしています。

感想

この本のおかげで、ゲームというものがとても恐いものだと分かりました。気軽にできるから、だから脳に影響が出て汚染されやすい。もし、沢山ゲームをする人がいたらぜひ読んでください。 (灰音)

『Another 上・下』(角川文庫)

綾辻行人／著 角川書店



《あらすじ》

ホラーとミステリーの融合である。
26年まえ、ある「善意」から生まれた「呪い」。
1998年春。クラス委員長の死から再び恐怖が始まった。謎が謎を呼び、驚きの結末。

感想

長編小説だから、外観がぶ厚く、若干抵抗はあるかもしれないが、おそれることはありません。一度読み始めたら終わるまで目が離せない。 (文月郁)

『本の虫』

—その生態と病理 絶滅から守るために—
スティーヴン・ヤング／著
薄井ゆうじ／訳 アートン



《あらすじ》

本の虫とは、2001年に発見された、ヒトの視線を主な栄養分とする、どの種にも属さない独自の進化を遂げた微小な生命体のことです。この本は、その本の虫の生態と特徴、本の虫によって引き起こされる書籍病などに関する研究書です。これらについてよく知ることで、その病と付き合い、絶滅寸前の本の虫と共存する方法がわかるでしょう。もちろん、この本にももう本の虫は住み着いているかもしれません。そのときはかわいがってあげてください。

感想

もう本の虫に棲み着かれている人や、これから本の虫を飼育しようと思っている人は、絶対に読みましょう。もちろん、そうでない人にもぜひ読んでほしい一冊です。そして、みんなて本の虫の飼育者を増やしましょう! (本の虫)

『午前0時の忘れもの』

赤川次郎／著 集英社 (集英社文庫)



《あらすじ》

愛していれば、奇跡もきっと起こる。
転落事故で湖に沈んだバス。何の用意もなく生を断ち切られた死者たちが、大切な人に別れを告げるため、真夜中のバスターミナルに戻ってきた!! 偶然いた者たちも巻き込み、死者と生者の思いが交錯する。
命、愛の尊さを綴った傑作ファンタジー。

感想

テンポよく話が進んでいくので、一気に読みたくなりました。もし、自分がこの場に居合わせていたら、どうするだろうと考えながら読めば、面白さが倍増します!!
生の価値について考えたい時にぜひ! (毛玉☆)

『魔法科高校の劣等生』

(1)入学編<上>』

(電撃文庫)

佐島勤／著 石田可奈／イラスト
アスキー・メディアワークス



《あらすじ》

現代の魔法使い「魔法師」を養成することを目的とした国策高等学校 国立魔法大学附属第一高校。将来を約束されたエリート魔法師候補「ブルーム」とその補欠補充要員である「ウィード」。様々な問題をはらみながらも平穏だった学びの園にウィードの兄とブルームの妹、二人の兄妹が入学したときから、波乱の日々が始まった。

感想

ウィードの兄とブルームの妹ががんばるお話。
(坂本ちくわ)

『都会のトム&ソーヤ ①』

はやみねかおる／著 講談社



《あらすじ》

何もかもにおいて普通であると自負する主人公の内藤内人は、天才肌で御曹司の竜王創也に出会う。その出会いがお互いの日常を大きく変えることになる。皆での生活、栗井栄太の謎、果たして二人はシックスゲームを作り出すことができるのか!?

感想

内人と創也だけでなく、登場人物同士の絡みが至極。止まらない創也の暴走にハラハラしつつ、おばあちゃんから譲り受けた内人の知恵に感心し、深まる謎に魅せられます。結末は神のみぞ知る。
(トマトもぎれビーム)

『煉獄姫』(電撃文庫)

藤原祐／著 kaya8／イラスト
アスキー・メディアワークス



《あらすじ》

現世より一つ下の階層に位置する別世界『煉獄』そこに満ちた毒素は有害であるが、一方で人の意思に干渉し、森羅万象へと変化する。それを練り上げる術を『煉術』という。煉術を操る煉術師として、瑩国非公式王女アルテミシアとその従者フォグは、国王より密命を受け、陰謀と策略が渦巻く都市『蓐都』へ繰り出すのであった。

感想

独特の世界観のファンタジーです。ヒロインのアルテミシアの子供らしさとは裏腹に、政治的な駆け引きや、欲による裏切りなど、人の悪意などが細かく描かれており、とても現実味がある本でした。
(七紙)

『クジラの彼』(角川文庫)

有川浩／著 角川書店

《あらすじ》

この本は、有川浩先生の別の作品『塩の街』『海の底』『空の中』の番外編やその他の短編が収録された恋愛短編小説です。



感想

有川先生らしい胸がキュンとする恋愛が詰まっています!短編なのでちょっとした時間に読めるところもおすすめです。
(仁希)

『黒揚羽の夏』(ポプラ文庫ビュアフル)

倉敷茂／著 ポプラ社

《あらすじ》

両親の都合により祖父のいる東北の田舎にきた千秋、美和、颯太。町に台風が訪れた日、美和は水たまりに映る不思議な少女の姿を見る。それが、不可解な事件の始まりだった。



感想

僕はあまりミステリー小説を読まないのですが、この本はとても面白いので、皆さんも是非読んで欲しいです。
(朱雀リョウ)

『万能鑑定士Qの事件簿 I』

松岡圭祐／著 角川書店 (角川文庫)

《あらすじ》

街に貼られている不思議なシールの謎を追う若き週刊角川の記者・小笠原悠斗は、シールの鑑定のため訪れた店で、若く聡明な鑑定士凛田莉子に出会う。それがシールのウラに潜む謎を解く出会いであった。



感想

このシリーズはミステリーなのにも関わらず、一人も死なない。だが、面白くないと思う人がいたら大間違いだ。偽札事件が発端となり、日本を襲うハイパーインフレなど息もつかせぬ展開となっており、かなり読み応えがある。
(生徒会官房長官)

『ゲート 1 接触編』

一自衛隊彼の地にて、斯く戦えりー
柳内たくみ／著 アルファポリス

《あらすじ》

この本は、東京に突如として現れた「ゲート」を巡る向こう側の世界と日本と時々中国とかアメリカとかの話で、なんとオタク自衛官が活躍し、向こう側の世界を調査したり古代龍を倒したりする。



感想

オススメのポイントは、作者が自衛隊で実際に勤務していたので、隊員たちの生活や、戦闘シーンがリアルな所と、登場人物がゴスロリの亜神など、特徴的な人々が多い所です。オタクにオススメの逸品です。
(鐘軌)

あなたの読書生活が変わるかも??

ぼくらの読書事情

編集委員が自らの読書事情について語り合いました。

Q
ブックカバー
付ける?
or
付けない?



付ける派

汚れるのが嫌なので付けます。

本はほとんど借りて読みますが…。買った場合は大切にしたいので付けます。

表紙が汚れないし、何を読んでいるか他の人から見えないし。

本棚での日焼け防止のため。カレンダーで自作したりしています。

人に自分が読んでいる本を見られるのが嫌。

ブックカバーのデザインが好き。表紙の汚れも防げるし、内容によっては見られたくない。

私は付けない派。本棚にきれいに並べたいし、カバーを付けて並べると、どこにどの本があったのかわからなくなるから。

付けない派

場合による派

外では付けます。家では外して本の中身を楽しむ。表紙はいらない。中を楽しみ、深い世界を味わいます。

ブックカバーは読むときはつけて、読まない時ははずします。折れたり汚れたりするのを防ぎます。



付ける派が多いね

古本だと付かないのでそのまま付けない。新刊だと「付けますか」って聞かれたら付けます。

大概作家さんで買います。あとは、ライトノベルとか後ろに載っている広告をみて気に入ったら買います。表紙買いは絶対しません。

勘で選びます。まず表紙、裏表紙の説明・あらすじ、作家さんのあとがきを読んで「欲しい!」と思ったら買います。

場合によります。好きな作家さんの新刊は迷わず買います。ラノベとかマンガはとりあえず表紙で買います。でも、はずれることのほうが多いです。

まずタイトルを見て、あらすじを見て読んでいいかなと思ったヤツを読みます。

作家さんがあらすじを読んで買います。表紙買いしたときに痛い目にあったことがあるので、表紙買いはしてません。

好きな作家さんのものは、新刊がでるとあらすじをみて買うかどうか決めます。

裏表紙の説明を読んで決めます。

時間があるときは、図書館や古本屋の棚を端からみて、題名で手に取り、後ろの説明とかを見て買います。時間がないときは目当ての作家さんだけば一つと見て、題名で買う。

Q
本の買い方、
基準は何?



Q

本が好きになるきっかけを与えてくれた本、人生を変えた本、教えて

人生を変えた本は、西尾維新の『クビキリサイクル』。こういう本を読みたいという中2病精神が全開になりました。主人公の口癖「戯れ言だけどね」が凄い印象に残って、西尾維新にはまりました。

今までで最も印象に残っているのは有川浩さんの『図書館戦争』シリーズですね。これほどまでに本を愛する主人公達が、本を守るという気骨を持っているというのがとても心に響いて感動しました。

きっかけというのは特になく、物心つくころから絵本を読んでもらっていて、気がついたら本が好きになっていました。

読書するきっかけになったのは乙一さんの『銃とチョコレート』。うつのみやこども賞の選定委員をやっていて、それ自体が僕を読書の世界に引きずり込んだ感じです。『銃とチョコレート』は表紙から内容から、本当に印象的でした。

私に読書生活を与えてくれたのは『ダレン・シャン』。先輩の勧めで読んでズルズルと読書にはまりました。

本を好きになったきっかけは江戸川乱歩。小学生になって初めて図書室にいて、初めて手に取ったのがそういうものでした。

本を読むのが好きになったのは『デルトラクエスト』。読んでいるうちに「うわぁこれ面白い!」という風になって、今にいたります。

しいて言えば『私が売られた日』という本です。酷く悲しい本でしたが、「頑張る」ということにとっても感化されました。

小3で、周りにある本がつまらなくなり『源氏物語』を読み始めました。それからズルズルはまり、『枕草子』とか平安から江戸時代に書かれたものを読みました。

読書にはまるきっかけは、国語の教科書の短編小説。暇なときに読んでいたらいつの間にか好きになっていました。図書室の先生に勧められた『トワイライト』を読んで、長い文章にも抵抗がなくなりました。

読書のきっかけになったのは『ファール昆虫記』。小学生の時、虫が好きだったので読んでみたら面白かった。

小学生の時に読んだ『若おかみは小学生!』表紙の絵にひかれて読んだら面白くて、そのあとどんどん本を読むようになりました。国語の教科書に載っているものでも結構好きなのが多かったので、そこから。



きっかけは人の数だけあるんだね〜

あまり買いません。ネットとかオススメとかの書評を読んで図書館で借りて読みます。

作家さんやジャンルで買います。あと、好きな装丁家さんで買ったり。そうすると本棚に統一感が生まれて見栄えがよくなるかな、と。

表紙で買ったり、作家で買ったり。大体は表紙ですかね。でも、はずれるときが多いので最近はやめています。

好きな作家さんでもそうでない作家さんでも、とりあえず1回あらすじを読んで、面白そうだったりすると買ったりします。あと、普通の小説でも、表紙がきれいだとそれに負けて買ったりもします。



表紙買いすると失敗する?!



本にもいろいろあったんだ ジャンル別おすすめ本

スポーツ

『一瞬の風になれ』(全3巻)

佐藤多佳子/著 講談社

陸上部必見!走ることに興味のない人にも是非読んでほしい作品です。(トマトもぎれピーム)

『ジャイアントキリングを 起こす19の方法』

岩本義弘・田中滋・岡田康宏ほか/著 東邦出版

サッカー素人な私でも読めて『ジャイアントキリング』の起こし方のヒントが載っているためになります。サッカーを見る目が変わりました。(毛玉☆)

『大延長』

堂場瞬一/著 実業之日本社

予期せぬ事態に翻弄されながらも懸命に戦い続ける高校球児の姿がかっこいい!(NMO27)

歴史

『尾張春風伝』(上・下)

清水義範/著 幻冬舎

型破りな江戸時代の藩主、徳川宗春を題材にした本格時代小説。宗春はかなりの変わり者ですが、その人生から学ぶことは多いはず。(本の虫)

『早雲の軍配者』

富樫倫太郎/著 中央公論新社

歴史が好きな人にはぜひぜひおすすめ。軍配者という立場や武田信玄・上杉謙信等の人物がよくわかって、繰り広げられる頭脳戦にドキドキします。(NMO27)

『隠されてきた「ヒロシマ」』 毒ガス島からの告発

辰巳知司/著 日本評論社

もう一つのヒロシマ。毒ガスを作っていたとある島の話です。(鐘軌)

恋愛

『ころろ』

夏目漱石/著 新潮社(新潮文庫)

「私」が「先生」を慕う気持ちが良くわかりました。
(トマトもぎれピーム・仁希)

『きみにしか聞こえない』 -CALLING YOU-

乙一/著 角川書店(角川スニーカー文庫)

頭の中の携帯電話をきっかけにした切ない恋の物語です。(文月郁)

『きらきらひかる』 江國香織/著 新潮社

100%の恋愛してみませんか?恋するあなたにも、恋したいあなたにもおすすめしたい1冊です。(毛玉☆)

『阪急電車』

有川浩/著 幻冬舎

片道たった15分間の中でおこる切なく甘いラブストーリー。
(NMO27)

S F

『時をかける少女』

筒井康隆/著 角川書店(角川文庫)

過去に戻れるとしたら、あなたは どうしますか?少女達のあまく切ない想いが詰まっていた面白いです。(毛玉☆)

『優しいおとな』

桐野夏生/著 中央公論新社

荒廃した近未来の東京で、主人公イオンは自分のルーツを探す。(NMO27)

『メタルギア ソリッド』 ガンズ オブ ザ バトリオット

伊藤計劃/著 角川書店(角川文庫)

メタルギアならではの潜入ミッションの緊迫感、戦場の空気をそのまま小説に閉じ込めたような本。(鐘軌)

家族

『空中庭園』

角田光代/著 文藝春秋(文春文庫)

もう壊れているのに、家族でありつづけるしかない人たちの物語。
(本の虫)

『狂乱家族日記』巻さつめ

日日/著 X6suke/イラスト
エンターブレブン(ファミ通文庫)

はちゃめちやな家族が巻き起こす、なんと「狂乱」な話。
(仁希)



アラカルト

『政治笑』

市村章/著・漫画 東洋経済新報社

'84の中曽根内閣から'10の鳩山内閣までの風刺画。当時の政治情勢や国内外の動向などが風刺画で面白可笑しく描かれています。
(生徒会官房長官)

『河童が覗いたヨーロッパ』

妹尾河童/著 新潮社(新潮文庫)

さくさく読めて何より面白いです。何処が面白いかは自分で読んで確かめて!
(仁希)

『国語入試問題必勝法』

清水義範/著 講談社(講談社文庫)

国語の入試などの文章を面白おかしく模倣した7つの短編。
(本の虫)

ミステリー

『探偵・花咲太郎は閃かない』

入間人間/著 アスキー・メディアワークス
(メディアワークス文庫)

殺し屋さんがでてくるのにほのぼのしている不思議な小説です。読んでるとすごくなごみます。
(仁希)



『謎解きはディナーのあとで』

東川篤哉/著 小学館

これは本当に推理小説!?と思うくらいコミカルに会話が展開されてとても面白いです。謎が解けたときのスッキリ感が最高でした。
(毛玉☆)

『超・殺人事件』

東野圭吾/著 新潮社

私のお気に入り「超長編小説殺人事件」です。
(灰音)

『告白』

湊かなえ/著 双葉社

それぞれの意思を持った人間たちの行動と感情が錯綜する。その様子にハラハラしながらもどんどんページをめくってしまふ感覚でした。これも一つの愛の形なのかもしれません。
(灰音・トマトもぎれビーム)

『暗いところで待ち合わせ』

乙一/著 幻冬舎(幻冬舎文庫)

事故で視力を失ったミチルと殺人犯(?)アキヒロの共同生活。最後のどんでん返しにやられます。
(本の虫)

『心霊探偵 八雲』

神永学/著 角川書店(角川文庫)

ありとあらゆるどんでん返しがあります。
(文月郁)

『ゲームの名は誘拐』

東野圭吾/著 光文社

これぞ東野圭吾!と言わせるような設定と、どんでん返しの連続。ミステリー好きにはたまらない1冊。
(本の虫)

『長い長い殺人』

宮部みゆき/著 光文社(光文社文庫)

この1冊を読めば、ほんの少し物を大切に思う心が芽生えるでしょう。
(灰音)

『宇都宮水路迷宮』

諸橋孝一/著 鳥影社

宇都宮の水路を舞台に繰り広げられるミステリー小説。使われている写真や地名が近所だったので驚きました。(鐘軌)



編集委員を紹介します

ペンネーム

- ①担当
- ②学校
- ③ひと言感想

灰音

- ①編集長
- ②宇都宮工業高校
- ③多くの方々によって進められました。
ありがとうございます。

トマトもぎれビーム

- ①副編集長・キャッチコピー
- ②作新学院高校
- ③頑張りました!!

鐘軌

- ①企画・構成
- ②宇都宮工業高校
- ③皆さんとともに、本について語り合えてよかったです。

NM027

- ①イラスト
- ②宇短大附属高校
- ③いろいろな本に出合えて楽しかったです!!

毛玉☆

- ①キャッチコピー
- ②宇短大附属高校
- ③大変だったけど面白かったです。

生徒会官房長官

- ①企画・構成
- ②宇都宮白楊高校
- ③どの本を紹介するか迷いました。

仁希

- ①イラスト
- ②宇短大附属高校
- ③表紙やカット等のイラストが描き終わるか心配でした。

本の虫

- ①原稿とりまとめ
- ②宇都宮高校
- ③文字数の制約がとても辛く、原稿書くのに一苦労でした。

坂本ちくわ

- ①原稿とりまとめ
- ②作新学院高校
- ③提出遅れてすみません…。

朱雀リョウ

- ①書記
- ②作新学院高校
- ③とても楽しかったです。

文月郁

- ①書記
- ②宇短大附属高校
- ③何よりも苦労したのは紹介文でした。

七紙

- ①書記
- ②作新学院高校
- ③他の学校の人と交流ができて、読む本の幅が広がりました。

図書館から

12人の高校生編集委員のみなさん！会議でのみなさんのお話はとても楽しかったです。勉強や部活で忙しい中、編集作業に時間をさいてくれて、本当にありがとうございました。このVol.3がたくさんの高校生に読んでもらえたらうれしいです。

編集委員募集

あなたも本の紹介をしてみませんか？
次号Vol.4でも高校生編集委員を募集します。本好きの高校生の皆さん、ぜひご参加ください！
詳しくは中央図書館まで。

読めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

宇都宮の高校生のための情報誌
Vol.3

MIYATEEN

発行 平成24年3月 編集 MIYATEEN編集委員
ご意見・お問い合わせ 〒320-0845 宇都宮市明保野町7-57 宇都宮市立中央図書館 TEL028-636-0231

